

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス キュマイラ		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	渴望	衝動	嫌悪	初期侵食率	32	%
出自	天涯孤独	経験	実験体	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	4	0	0			4	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	1	0			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
蒼真	P 友情	N 悔悟			
賢者の石	P	N			
UGN	P 有為	N 恐怖			
霧谷	P 誠意	N 猜疑心			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
インフィニティウエボン	5	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: Lv+7の白兵武器作成								
カスタマイズ	3	2	メジャー	武器				
効果: 判定のダイス+LV個する。								
コンセントレイト:モル	2	2	メジャー					
効果: c値-Lv								
レインフォース	5	2	メジャー			シンドローム		
効果: 攻撃力+Lv*2								
咎人の剣	3	4	メジャー			白兵	リミット	
効果: インフィニティウエボンと組み合わせ。攻撃力+LV*5								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 戦闘移動。1シーンに一回。								
フルパワーアタック	2	4	セットアップ	至近	自身	自動	80	
効果: 攻撃力+LV*5する。行動値0になる。								
無上厨师	1							
効果:								
鋭敏感覚	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「俺の命は犠牲となった121人の同胞たちでできているんだ。だれも俺らを否定させねえ。俺があいつらの存在証明だ。」
 かつて賢者の石を埋め込む実験体であり成功例。蒼真との戦いを終って正式にUGNの所属となった。自身のいた訓練施設がおかしかったことは分かっていた。しかしそれを否定することはその結果生まれた彼と犠牲になった仲間まで否定されてしまうように感じている。
 故に戦う、みんながいた証を示すために。
 故に生きる、明日を生きられなかった者のために。
 故に抗う、誰にも存在を否定されないうために。
 『存在証明』。彼こそが、犠牲となったものの希望なり。

性格は正義感溢れる少年。考えるよりも体が動き、誰にでも手をさしのべる。殴ることしかできない、誰かを傷つけることしかできないこの拳だからこそ、その手を開いて掴みたいと願い、今でもそうしている。少し先走るところもある。額に賢者の石を埋め込んでいる。

(出自) 「両親は俺を庇って死んだ。だから俺は戦うんだ。この命を意味あるものにするためにな」
 戦争地域で育ち、戦火に巻き込まれる。両親は崩れる瓦礫から自分を守るために死んだ。そこをUGNに見つけてもらい、施設に入った。

(経験) 「たしかに施設はくそみたいなおとこだったかもしれねえ。でもそのおかげで俺は力を手に入れられてんだ。」
 訓練施設に手賢者の石を埋め込む実験を受けている。やり方は間違っていることに気づいてはいるが自身の存在理由でもあるため安易に否定はしない。

(邂逅) 「あいつとはずっと一緒に走ってきたわけだし、友情もあるけど、嫉妬もあるかな。」
 施設にて蒼真と出会い、共に高め合った。彼とは助け合う中というよりは互いにぶつかり合い成長していった仲である。